

年 組 名前： _____

十日市祭典 土日開催に 南アルプス 会場も一部変更



開催日が変更されることになった「十日市祭典」。今年の祭典では多くの人が訪れた
＝南アルプス市十日市場（2月10日）

南アルプス市十日市場で500年以上続く伝統行事「十日市祭典」の実行委員会（小野仁士委員長）は7日、来年から開催日を2月10日の直近の土日に変更すると発表した。来年の開催日は2月8日、9日となる。実行委によると、500年以上続く祭典を2月10、11日以外の日に開催するのは初めて。

祭典は、甲府盆地に春を呼ぶ「日市だるま」などの縁起物やぶ祭りとして知られる。曜日、飲食店などが国道沿いの約1.5キロに並んでいた。ただ近年は駐車場不足により



会場も一部変更する。複合施設「fumotto（フモット）」南アルプスの地域交流エリアと、これまで使用していた国道1・15号のうち国道52号（甲西バイパス）の東

市場区は実行委の構成団体から外れる。

る周辺の渋滞や、準備に関する十日市場区住民の負担増などが課題になっていた。実行委は「近隣企業の駐車場を確保しやすい」などとして土日

に開催することにした。推定10万人の来場者を見込む祭典で発生するトラブル対応が難しいことなどを理由に、十日市場区は実行委の構成団体から外れる。

〈井村賢紳〉

(2024年11月8日付 山梨日日新聞 22面)

問1

500年以上続く伝統行事「十日市祭典」の開催日を、

初めて変更します。来年の開催日を教えてください。

.....

問2

変更した理由を教えてください。

.....

.....

側約300mが会場となる。県道のうち国道52号の西側約800mは「道幅が狭く、両脇に出店すると混み合って安全に買い物できない」ことがあった（実行委）として使用しない。

露店の募集は今月下旬に開始する予定で、前回の約260店と同程度の出店を目指す。小野委員長は「会場周辺の地域、交通事情が変化し、従来の開催が困難になった。歴史ある祭典であり、未来永劫続けていきたい」と述べた。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2024 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.